

第7回JET地域国際化塾（福井県）

実施概要

JET地域国際化塾の目的

JETプログラムにおいて招致した外国青年と、自治体・地域づくり関係者との交流の場である「JET地域国際化塾」を開催

- 外国青年が地域の魅力について理解を深め、地域活動への参加・貢献を促進
- 外国青年の視点を地域活性化に応用

福井県でのJET地域国際化塾の概要

令和4年10月12日（水）から10月14日（金）までの間で、福井県内における地域活動の事例発表、地域づくりの現場の視察、グループディスカッションを実施

<1日目：福井県における地域活動に関する事例発表>

- ・実際に地域に住み、地域で活動する地域づくり関係者による事例発表を聞き、地域活動の魅力、地域活動への参加の意義・貢献について学びました。

(参考) 事例発表

川口 サマンサ氏 「外国から見た福井県」

(鯖江市地域おこし協力隊/さばえSDGs推進センター)

田中 佑典氏 「福井県の隠れた魅力とは」

(文化交流プロデューサー)



事例発表の様子

<2日目：地域づくりの現場を視察>

- ・地域づくりの現場の視察、地域活動への参加・体験を通じて、地域の魅力について、より一層理解を深めるとともに、歴史的建造物の維持や地域文化の継承をはじめとする地域づくり関係者が抱える地域の課題や取組について学びました。

(参考) 4コースに分かれて視察 (主な視察先)

Aコース 千古の家、高岳寺、丸岡城(①)

Bコース さばえSDGs推進センター、うるしの里会館(②)

Cコース こしのくに里山再生の会、くにみクラゲ公民館、ワタリガラススタジオ、志野製塩所(③)

Dコース 七間朝市、大野城、東野東吉織物
はたや記念館ゆめおーれ勝山(④)



<3日目：事例発表と現地視察を踏まえた成果発表>

- ・事例発表と現地視察から、出身国と日本の違い等の感じたこと（成果）について、グループ討議や発表を通じて、地域の活性化について学ぶとともに、今後、自らが住む地域において、どのような地域活動を行っていくかについて考察しました。

- ・また、地域づくり関係者が、外国青年が持つ多様な視点について学び、今後の地域活性化への応用について考察しました。



グループ討議の様子

外国青年が感じた「福井県の地域の魅力」



漆器について学ぶ様子
～伝統文化・工芸の保存（継承）～



国指定重要文化財（江戸時代初期に建てられた福井県最古の民家）の
保存に力を注ぐ関係者と外国青年との車座
～地域文化の保存（継承）～



地域で描いた表示（外国青年が撮影）
～地域で子供を見守る文化～
～地域コミュニティの結束～



田園風景散策後に訪れた寺の庭
（外国青年が撮影）
～美しい自然との共生～



林業体験後に見た越前海岸
～森里川海の豊かさと自然保護活動～

JET地域国際化塾をきっかけとした外国青年の今後の活躍（参加者へのアンケートから）

<JET地域国際化塾に参加した外国青年の取組と効果>

- ・ 地域の方々や他の外国青年とのネットワークを構築
〔効果〕外国青年と地域との連携の促進、外国青年同士での連携が促進される。
- ・ 発見した福井県の魅力や体験について、他の外国青年、職場、生徒や家族等に共有したり、撮影した写真をSNSで発信
〔効果〕外国青年が持つ多様な視点と福井県の魅力が発信され、共有される。
- ・ 自身が暮らす地域に潜む魅力の見直し
〔効果〕外国青年が、地域の魅力について更に理解を深め、地域の魅力が再発見される。
- ・ 地域活性化プロジェクトへの参加
〔効果〕外国青年が地域活動に参加、地域活動のノウハウを獲得する。



<JET地域国際化塾に参加した外国青年の認識の変化>

- ・ JETプログラム参加者として、自身に求められる国際交流等の重要性について、改めて認識するきっかけになった。
- ・ 他の地域のJETプログラム参加者との交流が深まり、日本の地域づくりの重要性を理解することができた。



地域づくり関係者との議論

※JET地域国際化塾で、外国青年が撮影した写真は「福井国際フェスティバル2022」でパネル展示され、外国青年が発見した福井県の魅力が紹介されました。（令和4年10月23日開催、来場者数約1,500名）